

立命館經濟學

第三十卷 第三・四・五号

昭和五十六年十二月

立命館大学創立八十周年

記念論文集

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

目次

記念論文集の刊行にあたって……………	天野和夫	i
八〇周年記念論文集によせて……………	小檜山政克	iii
兵器の共同研究・開発・生産……………	木原正雄	一
——核時代の経済——		
勤労者家計の統計的研究……………	関彌三郎	三
二つの独占理論……………	小檜山政克	五
——白杉庄一郎氏とルダコワ女史——		
欧州通貨制度（E M S）の発足とその運営について……………	清水貞俊	六
西ドイツ経済専門家委員会答申の政策論理……………	坂野光俊	二四
価値諸範疇の体系性について……………	杉野罔明	二九
マルクス経済学における企業論の具体化……………	坂本和一	二九
経済学史の意義とその方法(白)……………	上野俊樹	三五
資本制の存続条件としての産業予備軍……………	甲賀光秀	三三

石油危機における価格構造変化の多部門分析	山田 彌	二九四
国際収支の均衡と貿易の均衡	岩田 勝雄	三三三
景気安定化政策と国債問題	北野 正一	三六八
資本主義の基本矛盾について	角田 修一	四二二
大正期・昭和初期の信用組合論	伊藤 正直	四四一
Aggregateされた輸入需要関数における関数形と価格の同時特定化について	本田 豊	四九三